

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.59 鹿野山宿泊保育事業			担当課	こども保育課			予算費目名	款 10	項 05	目 01	
事業概要 及び目的	<事業概要>幼稚園14園、東習志野こども園年長短時間児及び長時間児を対象にし て、体験学習を重視した1泊2日の宿泊保育。 <目的>鹿野山の自然と触れ合って遊ぶ。 友達と一緒に宿泊する体験を通して、自立心や責任感を養うと共に、幼 児同士の心の交流を図る。			成果指標	参加園児数（5歳児）			年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
				計画値	686 (H20) 679 (H21)		予算額(単位:円)	3,230,640	3,032,505	3,329,831	3,141,931	
					592 (H22)		決算額(単位:円)	2,697,285	2,167,200	2,813,450		
							従事職員数	104	112	117		
事業の 位置づけ	章 1	豊かな人間性と暖かさを育むまち		★左記施策(号)との結び付き ・平成19年度習志野市の教育課題の「課題3 豊かな人間性を育む体験学 習の充実」と「課題4 子どもたちの健康増進及び体力向上の推進」に結び ついていくものと思われる。	従事延べ日数	519	560	559	現状は? : <input type="checkbox"/> 実現している <input type="checkbox"/> 将来可能性はある <input type="checkbox"/> 将来困難だが可能性はある ■余地なし			
	節 1	豊かな人間性を育む教育の推進			民間活力の導入	相手は? : <input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 市民活動団体 <input type="checkbox"/> 企業・学校等						
	項 2	次代をひらく学校教育の充実				形態は? :						
	号 1	幼児期における教育・保育の充実										

2. 進捗状況

				平成21年7月24日記入					平成22年5月31日記入					平成23年4月14日記入
年度	21年度評価(20年度実施した事項についての評価)				22年度評価(21年度実施した事項についての評価)				23年度評価(22年度実施した事項についての評価)					
実施計画上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	中止 (補填事業実施)	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由
完了した事項	<ul style="list-style-type: none"> 鹿野山の自然に触れて遊ぶ 鹿野山少年自然の家に宿泊する 			なし	<ul style="list-style-type: none"> 感染症(新型インフルエンザ)の流行により、中止。中止後、教 育的な意義と保護者の意向を踏まえ、希望園で園外保育を実施。 また、各園で宿泊保育に代わる経験や活動を計画して実施した。 (バス代:全額市負担) 			なし	<ul style="list-style-type: none"> 鹿野山の自然に触れて遊ぶ 鹿野山少年自然の家に宿泊する 			なし		
継続している 事項														
未着手事項														
改善案	<ul style="list-style-type: none"> 予算削減を考慮し、保護者の負担分を増やすことができ るか、検討する。 			成果指標 実績値 686 達成率 100%				成果指標 実績値 525 達成率 77%				成果指標 実績値 624 達成率 105%		

3. 今後の方向性

		※課内協議を経て管理職が記入してください。				平成21年7月24日協議				平成22年5月31日協議				平成23年4月14日協議			
今後の方向性	成果の方向性	拡充				○				○				○			
	方向性	現状維持															
*根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか?なぜその「コストの方向性」をえらんだか?別紙「評価の視点」を参照してください。		休廃止 縮小 現状維持 拡充 コストの方向性				休廃止 縮小 現状維持 拡充 コストの方向性				休廃止 縮小 現状維持 拡充 コストの方向性							
		★上記を選択した根拠 幼児期に、自然の中でたくさんの友達と一緒に宿泊体験を行う本事業は、園内では経験できないことを学ぶ貴重な場の提供となっていることから、存続させることとしたい。その一方で、コスト面においては、その一部を保護者に負担していただく方向で検討していきたい。				★上記を選択した根拠 幼児期に宿泊体験を行うことで、園内では経験できないことを学ぶ貴重な場となり、豊かな人間性を育むという宿泊保育事業の目的を達成しながら、バス代を保護者に半額負担していただくことで、コストの削減を図ることができる。				★上記を選択した根拠 幼児期に、自然の中でたくさんの友達と一緒に宿泊体験を行う本事業は、園内では経験できないことを学ぶ貴重な場となっており、豊かな人間性を育むという宿泊保育事業の目的を達成しつつ、バス代を保護者に半額負担していただくことで、コストの削減を図ることができる。							
方向性を実現するため実施すること(改革案)		今まで全額市で負担していたバス代を、保護者が一部負担する方向を検討中。				今まで全額市で負担していたバス代を、平成22年度から保護者半額負担とする。											
前年度改革案の実施状況		<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 一部実施 <input type="checkbox"/> 検討中 ■その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 前年度の改革案がないため。				<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 一部実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> その他 ★実施以外は具体的に記載してください。				<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 一部実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> その他 ★実施以外は具体的に記載してください。							